

## 福島第一原子力発電所

### 1号機及び2号機非常用ガス処理系配管の一部撤去について

2021年5月18日

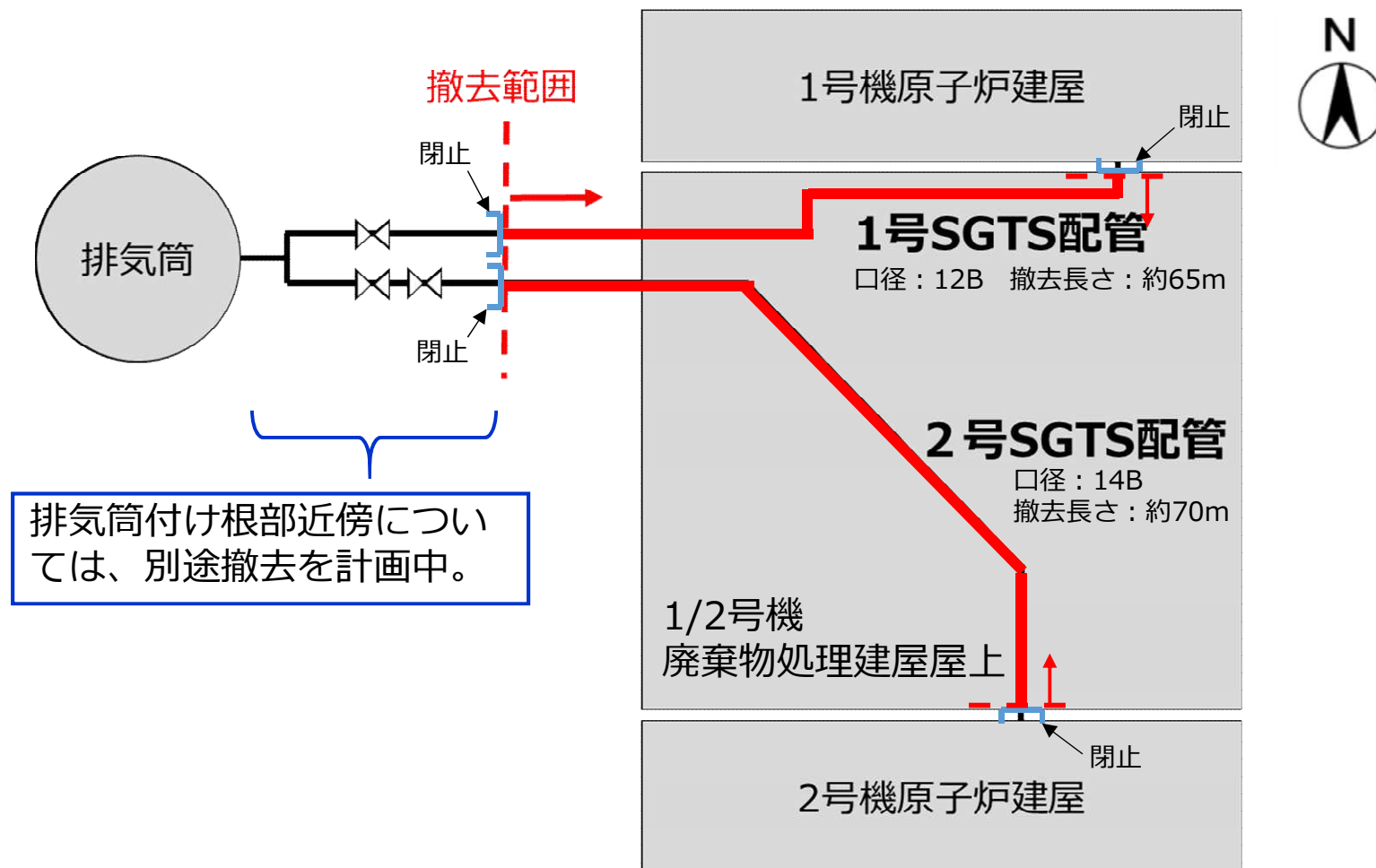


東京電力ホールディングス株式会社

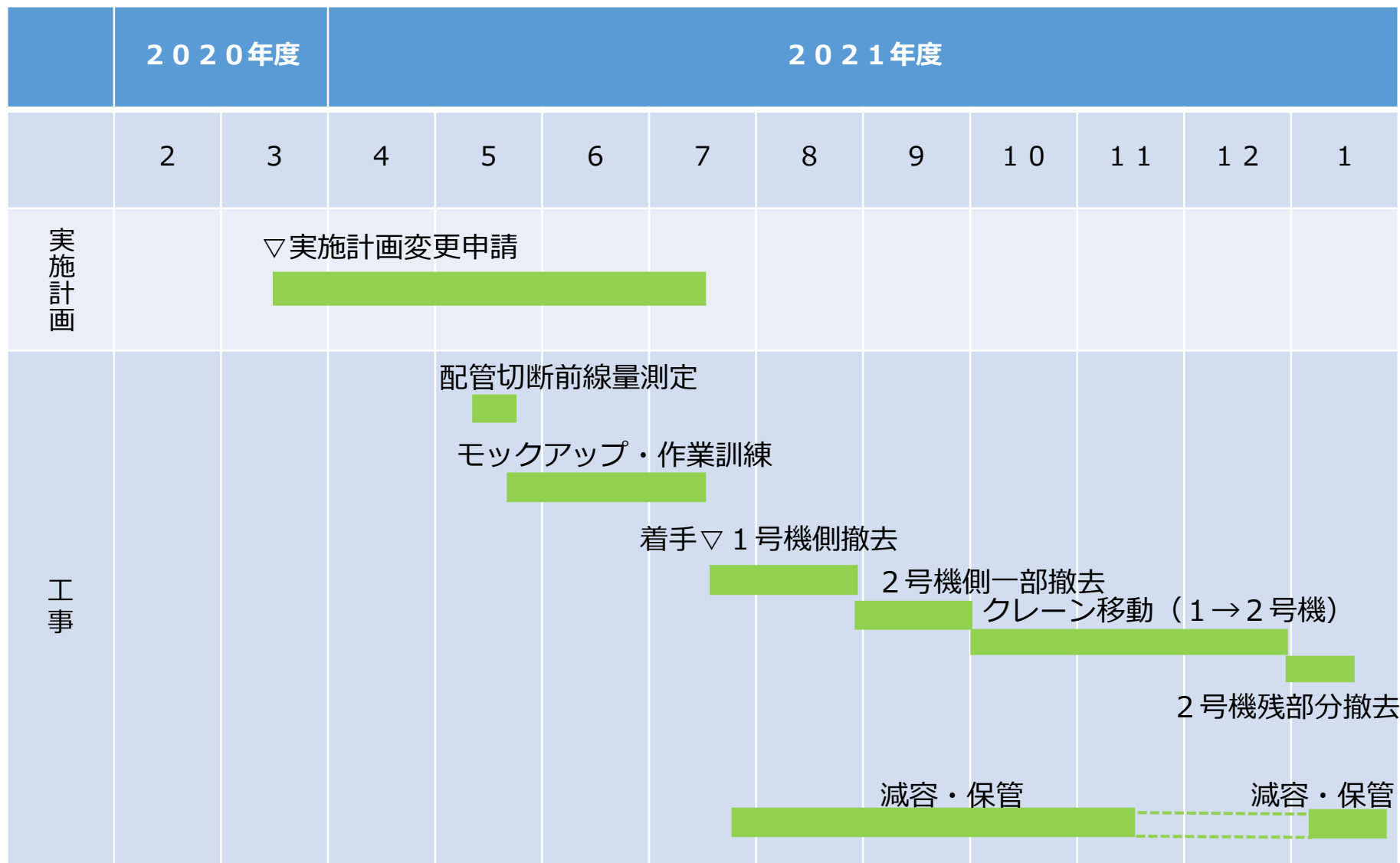
## 1. 1 / 2号機SGTS配管撤去目的及び撤去範囲

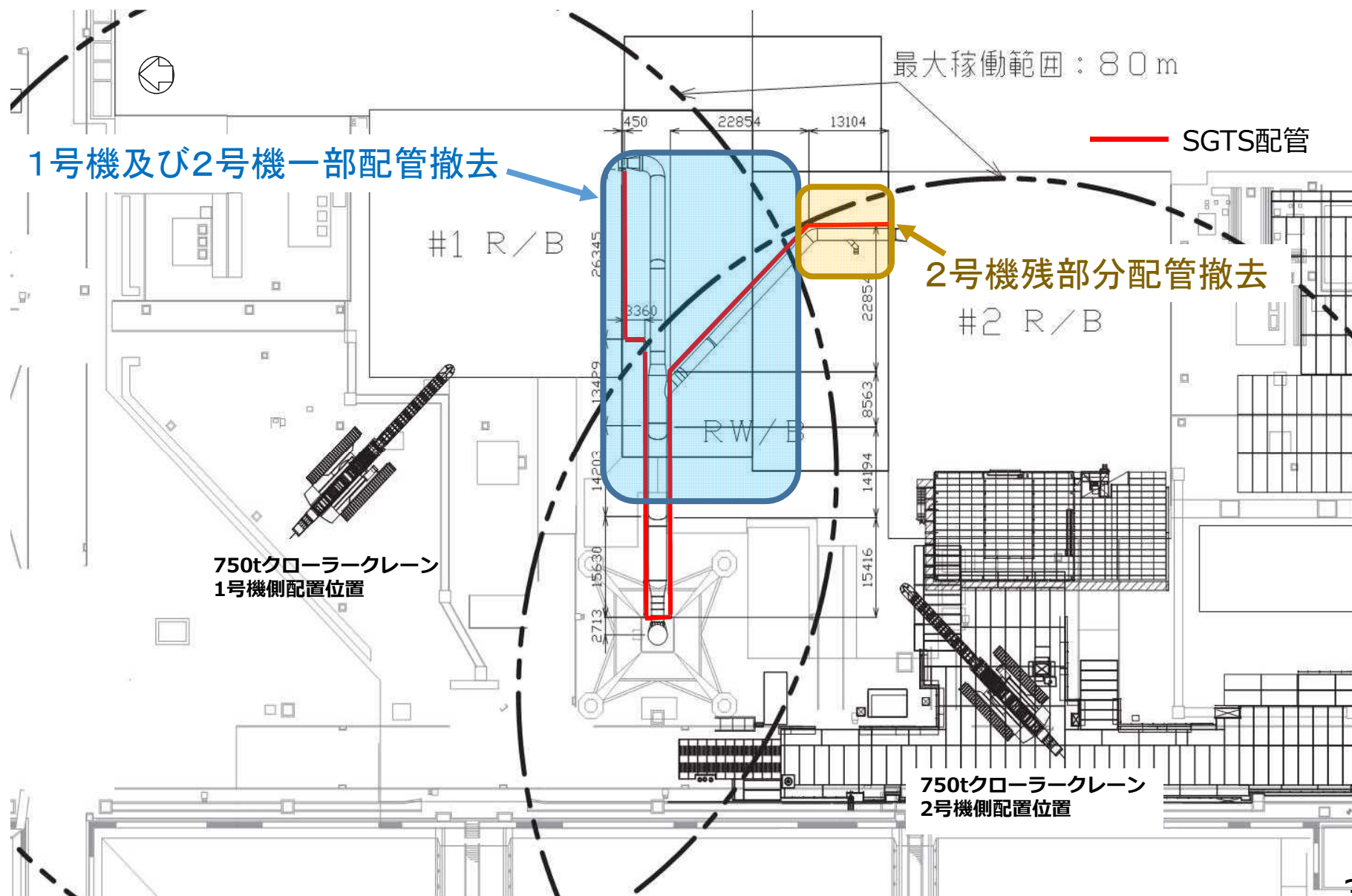
### ◆ 目的

- ✓ 1号機及び2号機非常用ガス処理系配管（以下、SGTS配管）のうち屋外に敷設されている配管については、1/2号機廃棄物処理建屋雨水対策工事及び1号原子炉建屋大型カバー設置工事に干渉することから配管の一部撤去を実施する。



## 2. 1 / 2号SGTS配管撤去工程（予定）





### 3. 1 / 2号SGTS配管撤去に関連した事故調査項目

#### (1)放射線量率測定

- 2020年5月にクレーン接近可能範囲（代表ポイント）の配管上0.1m及び1m上の線量測定を実施。
- クレーンにて接近不可能であった未測定部位（1号機側配管の一部）に対して、今回接近可能となったことから線量測定を計画。（実施中）
- 配管を切断することにより線量情報が失われる箇所について、事前に線量情報の取得を計画。（実施中）

#### (2)ガンマカメラ測定

- 細断場所(4号カバー建屋1階)にて、キャスク収納前にγカメラによる測定を実施。
- γカメラ測定では、汚染状態をマッピングする。（γカメラ種類については今後検討）

#### (3)スミア測定

- γカメラで高汚染が確認された箇所のスミア測定を行う。（測定治具は今後検討）

#### (4)配管サンプル採取

- 切断配管の中で比較的高汚染を確認した部分で且つ、発泡ウレタン材が注入されていない部位のサンプルを採取（幅数c mの輪切り状）し、撤去配管とは別の容器に保管する。

#### (5)スミア／配管サンプル分析

- スミア分析及び配管サンプル分析にあたっては、1 F構内に設置中のJAEA第一棟運用開始後に分析を計画しているが、東海・大洗研究所も視野に入れ今後調整する。

参考資料 1  
【放射線量率測定概要】

## <参考> 1/2号機SGTS配管線量調査 (1/2)

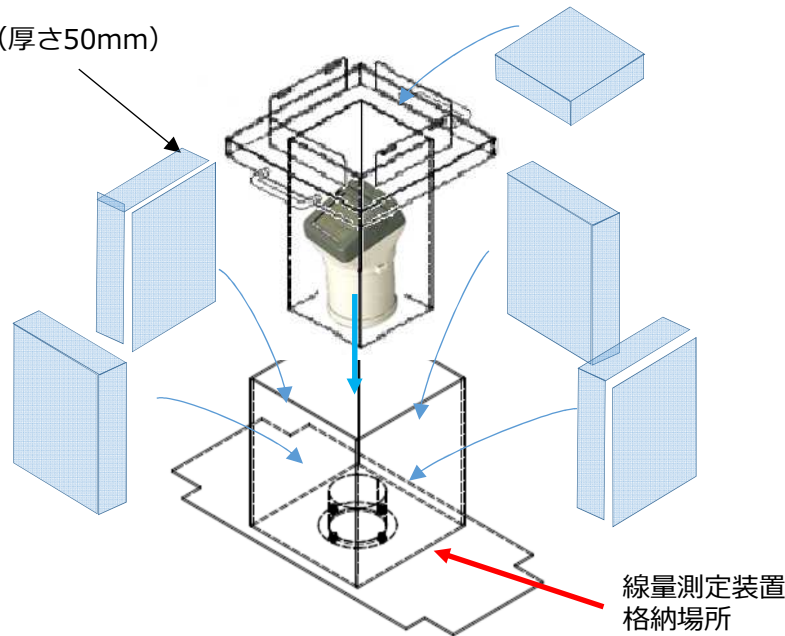
### ○ 実施内容

散乱線の影響低減を図るため、厚さ50mmの鉛でコリメートした線量計を線量測定治具内に装着し、750tクローラクレーンにて吊上げSGTS配管直上0.1m及び1m高さの線量調査を実施。合わせて、線量測定治具内に固定したカメラで配管外面確認を実施。

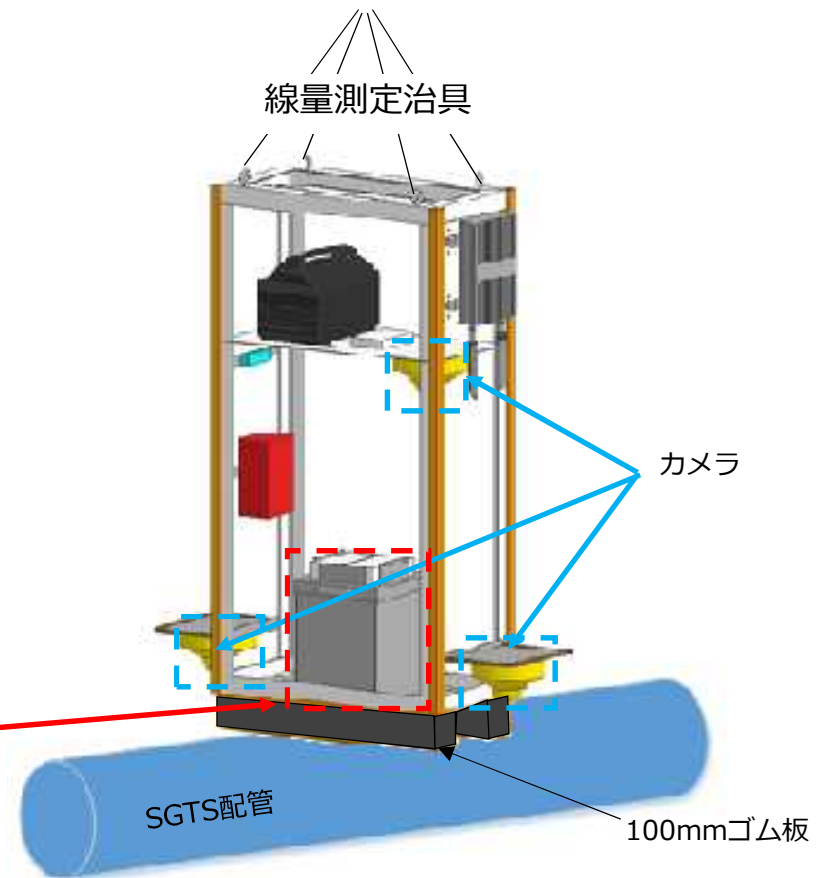
### ○ 実施日

2020年5月14日（木）、5月15日（金）

鉛（厚さ50mm）



線量測定装置  
格納場所



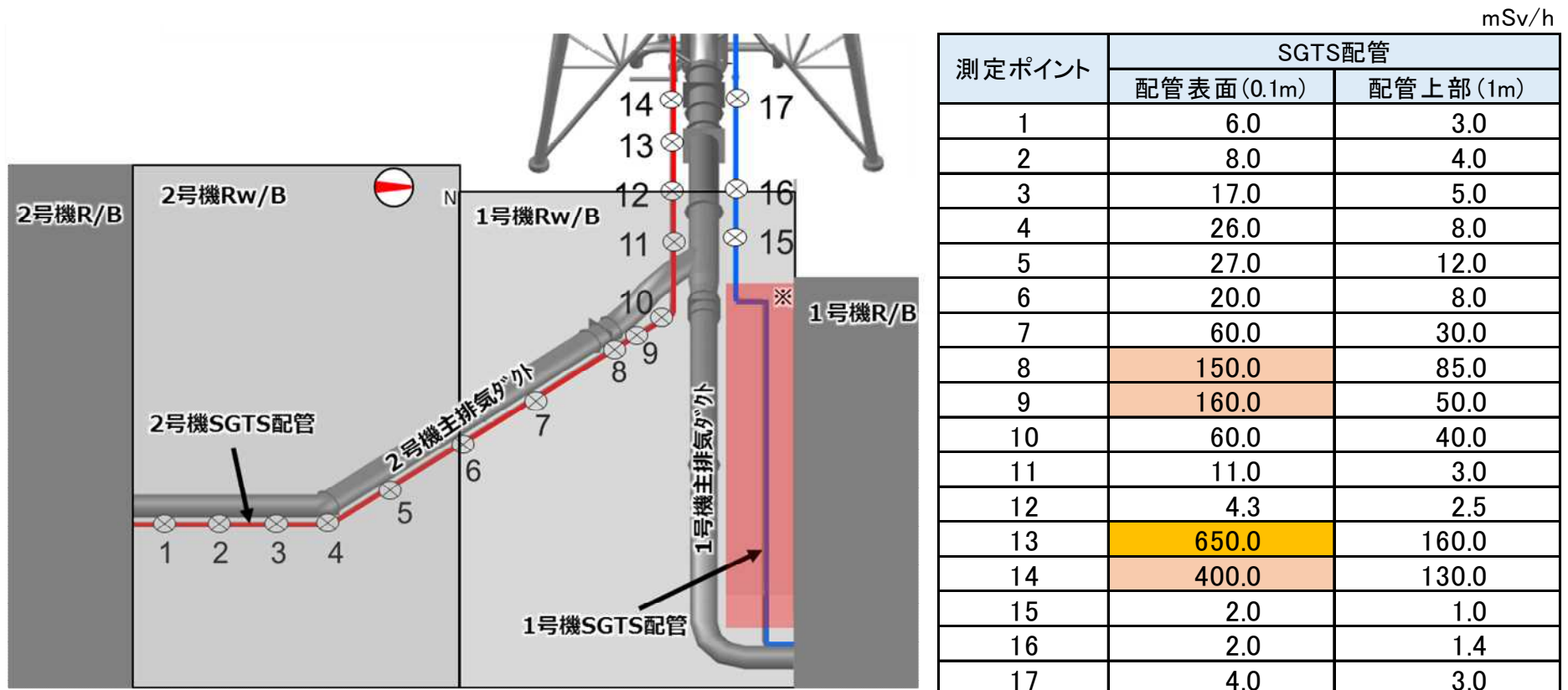
SGTS配管外面線量測定イメージ図

線量計仕様		
品名	電離箱式サーベイメーター(ICW)	電離箱式サーベイメーター(デジタル表示)(ICS)
測定範囲	0.001~1000mSv/h	0.001~300mSv/h

## <参考> 1/2号機SGTS配管線量調査(2/2)

### (1) SGTS配管近傍線量調査結果

- ・ 1号及び2号Rw/B上部のSGTS配管近傍の放射線量を概ね3～5m間隔で測定を実施。
- ・ 測定ポイントのうち比較的高い放射線量はNo.8、No.9、No.13、No.14にみられ、最も高い値は、No.13の2号機SGTS配管表面から高さ0.1mの位置で約650mSv/hであった。



※ 1号機原子炉建屋カバー架構下部のため、クレーンによる線量測定不可

※ 排気筒下部最大線量: 4350mSv/h



# <参考> 配管切断位置と表面線量

